

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 185 2023. 6. 1

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4丁目698-1
大阪教育大学 理数情報教育系 理数情報部門 若杉研究室
日本教育情報学会 運営本部事務局 TEL: 090-1026-1413 FAX:050-3488-5061
E-mail: jsei@jsei.jp http://jsei.jp/home/

日本教育情報学会 第39回年会の開催にあたって

『AI時代における学びの多様化を考える』をテーマとして、8月の神戸に皆様をお迎えして第39回年会を開催するための準備を進めております。

AIテクノロジーの飛躍的な進歩は、私たちの生活や社会のあり方にさまざまな変革をもたらしています。その中でも最も大きな影響を受けるのは教育分野とされており、教育の在り方の根幹を大きく変える必要があるとも言われています。特にここ半年間、AIにおいて大きな話題を呼んでいるのは、ChatGPTをはじめとした生成系AIではないでしょうか？生成系AIの利用が、教員の授業支援や学生の予習・復習など、さまざまな場面で教育や学習を効率化し、生産性を向上させる可能性が期待される一方で、学生がレポート作成等に利用することで、従来のレポート課題等による教育効果が十分に発揮されなくなったり、適切な成績評価ができなくなったりするといった懸念も生じています。

文部科学省は学校への「ChatGPT」導入について、ガイドラインの策定に向けて今年4月6日から検討が開始された報道があるものの、未だにその内容を公表するに至らず、教育現場では、生成系AIに対する期待と不安が入り混じる中、対応に追われているのが現状です。

いずれにせよ、われわれの今後の教育活動においては、生成系AIを前提とした授業設計や生成系AIと共存する中での教育活動が基本になるのではないかと推測されます。このようにAIによる教育の大きな変革の時期に、「AI時代における学びの多様化を考える」をテーマに本年会が開催できることは、大変意義深いものであると認識を新たにしているところです。

AIを活用することで、個別の学習ニーズや能力に合わせたカスタマイズされた学習プログラムの提供や、学習者の進捗をリアルタイムに把握し効果的なフィードバックを提供することが可能になりつつありますが、同時にアクセス可能性や格差の是正、デジタルリテラシーの向上、倫理的な観点からのAIテクノロジーの適切な利用などの重要な課題にも向き合わなければなりません。

本年会では、さまざまな専門家や関係者が集い、教育情報分野における先駆的な研究や最新の動向、実践的な取り組みを紹介するセッションや、異なる分野やバックグラウンドを持つ専門家によるシンポジウム、特別セミナー等などを通じて、参加者の皆さまが幅広い視点から、これらの課題について情報共有し、知見を交換する場を提供できればと考えています。

振り返ってみれば、新型コロナウイルス感染症の拡大により、3年続けて対面での年会開催が果たせませんでした。幸いなことに、5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類への移行に伴い、4年ぶりの対面での開催がほぼ確実に実現しました。今年こそ、会員の皆様と久々にお会いし、教育情報に関する研究交流を深めるとともに、AI時代における学びの多様化、学びの未来について真剣に語り合い、新たな展望を模索する機会としたいと考えています。8月の港町神戸にて皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

第39回年会実行委員長 陳 那森(関西国際大学)

◆第 39 回年会開催要項

開催日：2023 年 8 月 26 日(土)・27 日(日)

会 場：関西国際大学(神戸山手キャンパス 4 号館)

※キャンパスが複数ありますのでご注意ください

<所在地> 〒650-0006 兵庫県神戸市中央区諏訪山町 3-1

<URL> <https://www.kuins.ac.jp/>

事務局：日本教育情報学会 第 39 回年会実行委員会

<所在地> 〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江 1 丁目 3 番 23 号

関西国際大学 経営学部 陳 那森 研究室

06-6498-4755 (代表)

年会 HP：<http://jsei-nenkai.jp/>

主 催：日本教育情報学会

共 催：関西国際大学

後 援：兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、尼崎市教育委員会、三木市教育委員会

スケジュール

1 日目 : 2023 年 8 月 26 日(土)	
10:00~12:00	<課題研究> ICT 活用研究会 【A 会場(4 号館 3 階 4-303 教室)】 IR 研究会 【B 会場(4 号館 3 階 4-301 教室)】 デジタルアーカイブ研究会 【C 会場(4 号館 3 階 4-304 教室)】 教育資料研究会 【D 会場(4 号館 3 階 4-305 教室)】 プログラミング教育研究会 【E 会場(4 号館 2 階 4-201 教室)】 国際交流研究会 【F 会場(4 号館 2 階 4-202 教室)】 教職開発研究会 【G 会場(4 号館 2 階 4-218 教室)】 特別支援教育 AT 研究会 【H 会場(4 号館 2 階 4-219 教室)】
12:00~13:00	昼食・休憩 理事会・評議員会 【4 号館 4 階 4-403 教室】
13:15~13:45	総会・学会賞表彰式 【1 号館 5 階 1-536 教室】
13:45~14:00	研究会活動報告 【1 号館 5 階 1-536 教室】
14:15~15:15	基調講演 【1 号館 5 階 1-536 教室】
15:30~17:30	シンポジウム 【1 号館 5 階 1-536 教室】
18:00~	懇親会

2日目 : 2023年8月27日(日)	
9:30~12:00	<課題研究> ICT活用研究会 【A会場(4号館3階4-303教室)】 IR研究会 【B会場(4号館3階4-301教室)】 デジタルアーカイブ研究会 【C会場(4号館3階4-304教室)】 教育資料研究会 【D会場(4号館3階4-305教室)】 国際交流研究会 【F会場(4号館2階4-202教室)】 教職開発研究会 【G会場(4号館2階4-218教室)】 <一般研究> 情報教育① 【E会場(4号館2階4-201教室)】 教材開発① 【H会場(4号館2階4-219教室)】
12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~14:00	特別セミナー 【A会場(4号館3階4-303教室)】
14:15~17:15	<一般研究> 情報教育② 【A会場(4号館3階4-303教室)】 教材開発② 【B会場(4号館3階4-301教室)】 教科教育・学習評価 【C会場(4号館3階4-304教室)】 教育方法・デジタルアーカイブ 【D会場(4号館3階4-305教室)】 教育実践① 【E会場(4号館2階4-201教室)】 教育実践② 【F会場(4号館2階4-202教室)】 教育情報① 【G会場(4号館2階4-218教室)】 教育情報② 【H会場(4号館2階4-219教室)】 教育情報③ オンライン発表

【1】 基調講演(8月26日(土) 14:15～15:15)

ポストコロナと大学設置基準改正後の3つのポリシー

- ・ 講演：濱名 篤(関西国際大学 学長・学校法人濱名山手学院 理事長)
- (司会：陳那森 関西国際大学)

【趣旨】

コロナ禍4年目を迎え日常生活が戻りつつあるが、この間DX化は急速に進み、初中等教育も大学教育も教育環境は大きく変化した。ZoomやTeams等による遠隔学習は、対面授業に戻ってきた後にどのように定着または活用されていくのか。2022年10月の大学設置基準改正を受け、規制緩和と各大学の裁量権が大きくなる中で、どのような影響が出てくるのか。学修成果の可視化や質保証に向けて、3つのポリシー(中等教育ではスクールポリシー)を点検しつつ考えていきたい。

【2】 シンポジウム(8月26日(土) 15:30～17:30)

AI時代における学びの多様化を考える

コーディネーター：沖 裕貴(立命館大学)

・ パネリスト(五十音順)

大石 哲也(九州工業大学)

教育におけるデータ活用を推進する視点・立場から

神月 紀輔(京都ノートルダム女子大学)

教育DX、学びの最適化の視点・立場から

森山 潤(兵庫教育大学)

中等教育を中心としたICT教育研究の視点・立場から

山下 泰生(関西国際大学)

大学における情報基礎教育の視点・立場から

米田 浩(尼崎市立教育総合センター 学校ICT推進課)

教育行政、初等教育におけるICT教育の視点・立場から

【趣旨】

本シンポジウムでは、AI時代における学びの多様化について、その重要性和可能性および諸課題について、参加者とともに考え、教育情報学のこれからにつながる議論の場となればと願っている。

コロナ禍を通して、教えることと学ぶことを取り巻く状況が大きく変わりつつある。とりわけ、昨今のA Iテクノロジーの飛躍的な進歩により、教育と学びの在り方をめぐっては、歴史的な転換期を迎えようとしているように思われる。ポストコロナの世界を構想・構築する段階に至ったいま、デジタル化をめぐる個別的な課題を解決するに留まらず、教育におけるDXの推進、ひいてはA Iテクノロジーの飛躍的な進展に伴う学びの在り方のパラダイムシフトへの対応、といった大きな流れに位置づけて全体像をとらえていくことが必要であろう。私たちに求められているのは、教育DXさらにはA Iテクノロジーの最大限の適切な活用に取り組むことによって実現する「近未来の教育像」を見据えたうえで、ここから何をどのように進めていけばよいかという道筋を議論・形成していくことではないだろうか。

本シンポジウムは、上記のような認識に基づいて、教育情報学において「できること」「すべきこと」を追究していく契機となることを目指す。第一線で活躍される5名のシンポジストに登壇いただき、それぞれの立場・視点から発言・討議を行なっていただくなかで、A I時代における学びの多様化をめぐるさまざまな論点を提示し、教育情報学が今後において担う役割についてより包括的かつ効果的な学びの環境の構築に向けての「見取り図」を描くことを試みたい。

対面開催となる本シンポジウムにおいては、フロアからの質問・意見も積極的に受け付け、できるだけ多くの論点を取り上げることを心がけたい。特に生成系A Iの教育・学習活動における取り扱い方をめぐってはさまざまな動きが進行中であることなどに鑑み、ここでは必ずしも「答え」を急ぐのではなく、「問い」と「答えに向かうための素材・ヒント」を参加者とともに整理・共有する場となればと考えている。

【3】 プログラミング教育研究会主催

特別セミナー(8月27日(日)13:00~14:00)

教育情報の新たなアプローチ
～プログラミング教育の学びと脳研究～
コーディネータ：小熊 良一（群馬大学）
登壇者：本郷 健（大妻女子大学）

【趣旨】

プログラミング学習が脳のニューロンの発達や繋がりを促進し、脳の認知能力を高める効果があることが脳研究によって明らかにされつつある。こうした研究を進めてきた過程での手続きや課題について情報を共有してみたい。

今回登壇者らが進めてきた研究のねらいや手続きと成果を一つの事例として報告することを通して、教育情報の新しい領域のアプローチの仕方など仲間と話し合う機会を作り、教育情報研究のブレークスルーの一つのきっかけとしたい。

◆課題研究発表 8月26日(土)午前

テーマ：ICTを最大限活用し主体的・対話的で深い学び空間の創出

(ICT活用研究会)

26日(土)10:00~12:00

【A会場】4号館3階4-303教室

コーディネーター：河野敏行(岡山理科大学), 坂井岳志(世田谷区八幡小学校支援コーディネーター)

- 1AA1 国語科授業における効果的なICT活用の可能性と課題
 - －「読むこと」領域における実践事例をもとに－
 - 井上彩里(埼玉大学大学院), 星野祐子(十文字学園女子大学),
安達一寿(十文字学園女子大学)
- 1AA3 n 芒星の描画によるコンパクトなプログラミング入門教材の提案
 - 内田保雄(宮崎産業経営大学), 井田志乃(宮崎公立大学), 西田若葉(宮崎産業経営大学)
- 1AA4 講義サポートツールの利用
 - －プログラミング, 意見集約などのツール－
 - 河野敏行(岡山理科大学)

テーマ：学びの多様性に貢献するIR活動

(IR研究会研究会)

26日(土)10:00~12:00

【B会場】4号館3階4-301教室

コーディネーター：森雅生(東京工業大学), 石井雅章(神田外語大学)

- 1AB1 我が国の中小規模の私立大学における内部質保証のあり方
 - －日本高等教育評価機構の認証評価の評価結果を基に－
 - 高田英一(神戸大学)
- 1AB2 Eduinformaticsに基づく高等教育の持続可能性評価
 - －東京工業大学におけるアンケート解析システムの実践報告－
 - 高松邦彦(東京工業大学), 松本清(東京工業大学), 今井匠太郎(東京工業大学),
西出崇(小樽商科大学), 森雅生(東京工業大学)
- 1AB3 オンデマンド型動画授業における学習パターンの分析
 - －時間軸上の視聴状況や視聴時間等と動画内容および学習成果との関係の検討－
 - 西出崇(小樽商科大学)
- 1AB4 アンケート調査におけるデータの欠損が分析結果に与える影響
 - 松本清(東京工業大学), 高松邦彦(東京工業大学), 今井匠太郎(東京工業大学),
稲倉恒法(東京工業大学), 森雅生(東京工業大学)
- 1AB5 教養・SPI2種のe-learning systemを軸としたIR分析
 - －入学から卒業・就職までの大学全過程での最適化を目指したIRデータ活用－
 - 室谷心(松本大学), 矢崎久(松本大学), 瀧澤毅(松本大学)

テーマ：多様なデジタルアーカイブを活用したエコーチェンバー現象の克服

(デジタルアーカイブ研究会)

26日(土)10:00~12:00

【C会場】4号館3階4-304教室

コーディネーター：井上透(岐阜女子大学), 皆川雅章(札幌学院大学)

- 1AC1 郡上白山文化遺産デジタルアーカイブにおけるオーラルヒストリーの試みについて
有井弥生(岐阜女子大学大学院), 久世均(岐阜女子大学)
- 1AC2 デジタルアーカイブによる学びの多様性
ーAI時代の学びの多元的な多様性の確保ー
井上透(岐阜女子大学)
- 1AC3 ドローンによる地域資料デジタルアーカイブの開発
熊崎康文(岐阜女子大学)
- 1AC4 地域学習における効果的な活用を目指した語りのデジタルアーカイブ(2)
谷里佐(岐阜女子大学)

テーマ：新たな価値を見いだす個別最適化された学びと教育資料のあり方

(教育資料研究会)

26日(土)10:00~12:00

【D会場】4号館3階4-305教室

コーディネーター：成瀬喜則(富山大学), 又吉斎(沖縄女子短期大学)

- 1AD1 メタバースを利用した遠隔協働学習における創発の可能性
鈴木南波(岐阜女子大学), 小島和(岐阜女子大学), 青木稀愛(岐阜女子大学),
左高結衣(岐阜女子大学), 高木望羽(岐阜女子大学), 横山隆光(岐阜女子大学)
- 1AD2 地方教育行政に対する木田宏先生の思い
ー木田宏オーラルヒストリーからー
高橋正司(岐阜女子大学), 又吉斎(沖縄女子短期大学), 三尾寛次(岐阜女子大学),
上田貴之(岐阜女子大学)
- 1AD3 遊戯室使用の検討の必要性に対する保育者の思いの不一致要因を探る
高村真希(北陸学院大学), 浅香聡彦(大徳学園)
- 1AD4 幼児の表現力を引き出す音源の創作3
ー3歳児の楽器の表現に着目してー
堀田彩乃(名古屋文化学園保育専門学校), 齋藤陽子(岐阜女子大学)
- 1AD5 メタバースを利用した遠隔協働学習における個別最適化された学習の可能性
宮城卓司(うるま市立天願小学校), 山本康将(飛騨市立神岡中学校),
鈴木里香(岐阜女子大学), 村瀬康一郎(岐阜女子大学), 横山隆光(岐阜女子大学)
- 1AD6 メタバースを利用した遠隔協働学習における表現力育成の一試行
横山隆光(岐阜女子大学), 神山貴史(岐阜県立長良特別支援学校),
山本康将(飛騨市立上岡中学校), 中島法晃(岐阜女子大学), 土井のぞみ(岐阜女子大学),
森洋子(岐阜女子大学), 田中陽治(岐阜女子大学)

テーマ：AI時代のプログラミング教育の在り方

(プログラミング研究会)

26日(土)10:00~12:00

【E会場】4号館2階4-201教室

コーディネーター：小熊良一(群馬大学), 本郷健(大妻女子大学)

- 1AE1 動画教材を活用したプログラミング教育の実践と課題
 - ー小学校出前授業における実践事例報告と課題についてー
 - 新垣さき(沖縄女子短期大学), 比嘉勇太(沖縄女子短期大学),
大森洋介(一般社団法人ツクル)
- 1AE2 中学校特別支援学級におけるプログラミング教育の実践
 - 小熊良一(群馬大学), 本村猛能(日本工業大学), 山口彩(群馬大学), 植村勇太(群馬大学),
諏訪百香(群馬大学), 千明由依(群馬大学)
- 1AE3 初等教育におけるプログラミング学習教材のデジタルアーカイブ基礎研究(3)
 - 比嘉勇太(沖縄女子短期大学)
- 1AE4 Scratch向けeスポーツコントローラーの開発
 - ーESP32マイコンを使ったプログラミングの工夫ー
 - 福島俊亮(埼玉県立松山高等学校), 岡部建次(次世代研)
- 1AE5 プログラミング学習に対する自己認識と脳灰白質容積の可塑的变化の分析
 - 本郷健(大妻女子大学, 国立精神・神経医療研究センター),
八高隆雄(国立精神・神経医療研究センター, 横浜国立大学),
吉永健二(国立精神・神経医療研究センター, 京都大学大学院),
鹿野利春(京都精華大), 宮崎美智子(大妻女子大学),
花川隆(京都精華大, 京都大学大学院)
- 1AE6 生成モデル隆盛時代におけるデータサイエンス教育
 - 弓林司(株式会社ブレインパッド), 本郷健(大妻女子大学)

テーマ：ニューノーマル時代における教育・研究のグローバル化の在り方を模索する

(国際交流研究会)

26日(土)10:00~12:00

【F会場】4号館2階4-202教室

コーディネーター：清水義彦(富山県立大学), 総田はるみ(横浜商科大学)

- 1AF1 日本の大学における留学生のキャリア教育の検証
ーキャリア観の変容についてー
総田はるみ(横浜商科大学), 田中聖華(横浜商科大学), 立野貴之(玉川大学),
陳那森(関西国際大学)
- 1AF2 実例から見た ChatGPT の教育活動への応用の可能性
包胡日晝(中国揚州大学), 張盼盼(中国揚州大学), 陳那森(関西国際大学)
- 1AF3 国境を越えた「仮想反転授業」による編入留学教育プログラムの改善策
陳那森(関西国際大学), 山下泰生(関西国際大学), 中嶋康二(関西国際大学),
佐藤広志(関西国際大学), 小川勤(静岡福祉大学)
- 1AF4 中国の日本語教育から見る今後の課題と対策 ー天津での二大学を例にー
前川友太(河北工業大学), 李敏(天津科技大学)

テーマ：学びの多様化に対応する授業技術・教材開発

(教職開発研究会)

26日(土)10:00~12:00

【G会場】4号館2階4-218教室

コーディネーター：佐藤典子(甲子園大学), 治京玉記(奈良工業高等専門学校)

- 1AG1 高等教育機関を対象とした AI 技術の利活用と展望について
治京玉記(奈良工業高等専門学校)
- 1AG2 統計的な問題解決に向けた図解表現によるデータサイエンス教育(1)
ー図解表現を用いた学習方法の検討ー
納庄聡(大阪教育大学), 若杉祥太(大阪教育大学)
- 1AG3 ネット社会の新たな概念「Web3.0」の教材化に関する研究(1)
ーブロックチェーン・DAO・NFT・DeFi・メタバースの学生認知度と検定教科書の調査ー
藤本光司(芦屋大学), 林泰子(芦屋大学), 盛谷亨(芦屋大学)

テーマ：合理的配慮とアシスティブ・テクノロジー

(特別支援教育 AT 研究会)

26 日(土) 10:00~12:00

【H会場】 4号館 2階 4-219 教室

コーディネーター：新谷洋介(金沢星稷大学), 小川修史(兵庫教育大学)

- 1AH1 AT(アシスティブ・テクノロジー)スポーツ大会の実施とゲームの試作
新谷洋介(金沢星稷大学), 金森克浩(帝京大学), 大杉成喜(皇學館大学),
田中栄一(北海道医療センター), 田代洋章(日本支援技術協会), 福島勇(熊本高等専門学校)
伊藤文子(Link Aid 合同会社)
- 1AH2 重度身体障害者の視線入力等を活用した eSpots 参加(6)
—AIM+ボタン操作による PC ゲームの操作の向上—
大杉成喜(皇學館大学), 梶山紘平(かじだす Tube チャンネル),
吉村隆樹(パソボラ・こころのかけはし),
引地晶久(できわかクリエイターズ), 金森克浩(帝京大学), 新谷洋介(金沢星稷大学)
岡元雅(みやび Project), 伊藤史人(島根大学)
- 1AH3 学習理解を促す ICT 活用の実践に関する研究
—特別支援学校(知的)における小～高の実践を通して—
大西宏明(三重大学教育学部附属特別支援学校),
中倉健太(三重大学教育学部附属特別支援学校),
夏見和志(三重大学教育学部附属特別支援学校),
篠原敦子(三重大学教育学部附属特別支援学校)
- 1AH4 GIGA スクール端末で利用できるアクセシビリティ機能の整理
金森克浩(帝京大学), 大井雅博(帝京大学), 新谷洋介(金沢星稷大学),
福島勇(熊本高等専門学校)
- 1AH5 知的障害のある生徒の計算能力向上を目指したモーションセンサを利用した実践
—理系大学と特別支援学校の共同実践—
木村健大(埼玉県立騎西特別支援学校), 山地秀美(日本工業大学),
新谷洋介(金沢星稷大学)

◆課題研究発表 8月27日(日)午前

テーマ：ICTを最大限活用し主体的・対話的で深い学び空間の創出

(ICT活用研究会)

27日(日)9:30~12:00

【A会場】4号館3階4-303教室

コーディネーター：河野敏行(岡山理科大学), 坂井岳志(世田谷区八幡小学校支援コーディネーター)

- 2AA1 協働的に学びを深めるための教材活用
 - ー白板ソフトや探究ツール AkaDako や白板ソフトを活用してー
 - 片柳木ノ実(調布市立若葉小学校), 坂本勝((株)マイクロブレイン)
- 2AA2 「既存の教育機関を超えて、主体的に学ぶ学習者のための新たな仕掛け」の検証
 - ー「AI、Web、デバイス」は人々の学びを変えるのかー
 - 坂井岳志(世田谷区立八幡小学校)
- 2AA3 白板ソフトを使ったAI時代の教材開発
 - 坂本勝((株)マイクロブレイン)
- 2AA4 ICTを活用した教育の授業イメージを持つための一考察
 - ー教員のICTを活用した授業実践がもたらすイメージと
 - 教職課程における授業イメージの事例からー
 - 両川晃子(山梨学院大学), 伊藤栄一郎(山梨学院大学), 星野尚(那須町教育委員会),
 - 圓井健史(兵庫県立視覚特別支援学校), 北野真恵(堺市立美木多小学校),
 - 山田国枝(北名古屋市立五条小学校), 矢田修(名古屋経済大学市邨高等学校・中学校)
 - 稲葉通太(大阪府立堺聴覚支援学校), 村瀬キノコ(マッシュ&ルーム)

テーマ：学びの多様性に貢献するIR活動

(IR研究会)

27日(日)9:30~12:00

【B会場】4号館3階4-301教室

コーディネーター：森雅生(東京工業大学), 石井雅章(神田外語大学)

- 2AB2 高等教育機関におけるIRの大学別特徴の抽出に関する基礎調査
 - 稲倉恒法(東京工業大学), 松本清(東京工業大学), 高松邦彦(東京工業大学),
 - 今井匠太郎(東京工業大学), 森雅生(東京工業大学)
- 2AB3 IR活動を効果的に実践するための大学業務の最適化
 - 今井匠太郎(東京工業大学), 高松邦彦(東京工業大学), 松本清(東京工業大学),
 - 森雅生(東京工業大学)
- 2AB4 本質的IR人材育成カリキュラム策定に向けた実践的調査の設計
 - ーIRに関するスキルや知識の自己認識に注目してー
 - 大石哲也(九州工業大学), 西出崇(小樽商科大学)

テーマ：多様なデジタルアーカイブを活用したエコーチェンバー現象の克服

(デジタルアーカイブ研究会)

27日(日)9:30~12:00

【C会場】4号館3階4-304教室

コーディネーター：井上透(岐阜女子大学), 皆川雅章(札幌学院大学)

- 2AC1 校内博物館におけるデジタルアーカイブの構築と活用支援について
 - ー浦添小学校「子ども博物館」のデジタルアーカイブ構築作業を通してー
 - 富村寿也(沖縄女子短期大学)
- 2AC2 地域資料デジタルアーカイブのメタバースへの活用
 - ー下呂温泉メタバースの制作を例としてー
 - 林知代(岐阜女子大学), 櫛彩見(岐阜女子大学), 古野光希子(岐阜女子大学),
 - 柴田遥未(岐阜女子大学)
- 2AC3 地域デジタルコモンズが拓く地域づくり/地域学習の包摂的融合
 - ーd-commons.netによる主体的/協働学習の実践を通してー
 - 前川道博(長野大学)
- 2AC4 郷土資料デジタルアーカイブと多様な学び
 - 皆川雅章(札幌学院大学)

テーマ：新たな価値を見いだす個別最適化された学びと教育資料のあり方

(教育資料研究会)

27日(日)9:30~12:00

【D会場】4号館3階4-305教室

コーディネーター：成瀬喜則(富山大学), 又吉斎(沖縄女子短期大学)

- 2AD1 発達障害傾向のある児童における遠隔協働学習の教育効果
 - ー岐阜県と北海道を繋いだ遠隔協働学習を通してー
 - 菊池真也(岐阜女子大学), 後藤靖弘(長良小学校), 齋藤陽子(岐阜女子大学)
- 2AD2 教育DX時代における教育リソース並びにe-Learningの構成
 - 久世均(岐阜女子大学)
- 2AD4 遠隔教育の岐阜女子大学の展開とその課題
 - ー教育DX時代の遠隔教育における教育リソースの整備・活用に関する検討ー
 - 齋藤陽子(岐阜女子大学) 松川禮子(岐阜女子大学), 久世均(岐阜女子大学),
 - 横山隆光(岐阜女子大学), 佐々木恵理(岐阜女子大学), 眞喜志悦子(岐阜女子大学)
 - 加治工尚子(岐阜女子大学), 加藤眞由美(岐阜女子大学), 又吉斎(沖縄女子短期大学)
- 2AD5 地域資料デジタルアーカイブと生成系AI“ChatGPT”を用いた小学校英語教材開発の試案
 - 又吉斎(沖縄女子短期大学), 島袋あゆみ(豊見城市立伊良波小学校)
- 2AD6 高校の授業づくりを支援するための教材開発と評価
 - 成瀬喜則(富山大学), 林誠一(富山大学)

テーマ：ニューノーマル時代における教育・研究のグローバル化の在り方を模索する

(国際交流研究会)

27日(日)9:30~12:00

【F会場】4号館2階4-202教室

コーディネーター：清水義彦(富山県立大学), 総田はるみ(横浜商科大学)

- 2AF1 日本の若者の国際競争力を涵養する学習環境の構築
ー日本の高校生と海外の高校生の探究活動発表の実践ー
清水義彦(富山県立大学)
- 2AF2 Design and Research of an Online Learning Platform
for Python Programming Language Based on Moodle
CAIYingying(Yangzhou University), BAOhuricha(Yangzhou University),
ZHANGHao(Yangzhou University)
- 2AF3 中日翻訳・通訳の理論的分析
袁広偉(中国曲阜師範大学), 韓慧(中国曲阜師範大学)
- 2AF5 中国の康養産業の現状と課題
韓慧(中国曲阜師範大学), 袁広偉(中国曲阜師範大学)
- 2AF7 Construction and Empirical Research of Classroom Q&A Digital Evaluation Model
WANGWen(Yangzhou University), SUN Faqin(Yangzhou University),
BAOHuricha(Yangzhou University)

テーマ：学びの多様化に対応する授業技術・教材開発

(教職開発研究会)

27日(日)9:30~12:00

【G会場】4号館2階4-218教室

コーディネーター：佐藤典子(甲子園大学), 治京玉記(奈良工業高等専門学校)

- 2AG1 栄養教諭志望学生を対象とした「特別活動論」の授業改善
ーいじめ・体罰に関する受講前と受講後の意識変容の考察ー
泉廣治(甲子園大学)
- 2AG2 統計的探究プロセスの指導に関する考察
ー数学科教員志望学生へのアンケート調査からー
今澤宏太(大阪教育大学附属天王寺中学校), 若杉祥太(大阪教育大学)
- 2AG3 中学校社会科における地域調査(地域学習)の実践とその考察
ー学校周辺の野外調査(巡検)を軸にしてー
奥村信夫(滋賀大学教育学部附属中学校)
- 2AG4 IC タグを備えた食品模型を活用した高校生に対する食育
佐藤典子(甲子園大学), 加賀瀬順平(甲子園学院高等学校)

◆一般研究発表 8月27日(日)午前

情報教育①

27日(日)9:30~12:00

【E会場】4号館2階4-201教室

座長：阪東哲也(鳴門教育大学), 尾崎誠(園田学園女子大学)

- 2AE1 AIリテラシーと教員のICT活用指導力の関連性の検討
阪東哲也(鳴門教育大学), 福井昌則(徳島大学), 本沢彩(関東学院大学)
- 2AE2 大学生の非認知的能力と科目「情報基礎」におけるポートフォリオ評価との関係
山本美紀(松蔭大学), 立野貴之(玉川大学)
- 2AE3 「データサイエンス」の認知度・学習意欲に関する調査報告
—文系大学におけるデータサイエンス教育の実践と課題—
石野邦仁子(淑徳大学), 松山恵美子(淑徳大学)
- 2AE4 中学校技術科の「情報の技術」に関する基礎的研究
—検定済教科書における学習項目の順序性と重要語句の整理分析—
相澤崇(都留文科大学)
- 2AE5 小学校中・高学年児童のICT操作スキルの習得と学級における
1人1台情報端末の活用状況や指導との関連の分析の試み
渡邊光浩(鹿児島女子短期大学), 長濱澄(東北大学), 三井一希(山梨大学),
佐藤和紀(信州大学), 堀田龍也(東北大学)

教材開発①

27日(日)9:30~12:00

【H会場】4号館2階4-219教室

座長：細川光浩(福山平成大学), 大杉成喜(皇學館大学)

- 2AH1 卒論指導とCollege Analysis
細川光浩(福山平成大学), 奥田由紀恵(福山平成大学), 福井正康(福山平成大学)
- 2AH2 生成AI等を用いた小学校用教材の開発
—オーラルヒストリーのデジタルアーカイブを活用して—
眞喜志悦子(岐阜女子大学)
- 2AH3 動画教材制作のための編集技術パッケージ
權眞煥(京都教育大学), 黒田梨紗(京都教育大学)
- 2AH4 大学におけるICT活用を促進する学修システムのコロナ禍前後の稼働率について
奥田由紀恵(福山平成大学)
- 2AH5 データサイエンスとCollege Analysis
福井正康(福山平成大学), 青木麟太郎(福山平成大学)
- 2AH6 小・中学生のドローンプログラミングの試行
大杉成喜(皇學館大学)

◆一般研究発表 8月27日(日)午後

情報教育②

27日(日)14:15~17:15

【A会場】4号館3階4-303教室

座長：阿久津毅(昭和学院短期大学), 工藤雄司(茨城大学)

- 2PA1 情報教育の体系化を踏まえた micro:bit 計測・制御教材の提案
工藤雄司(茨城大学), 本村猛能(日本工業大学),
横山駿也(飯能市立飯能第一中学校)
- 2PA2 360度カメラとドローンによる閉校記念コンテンツの開発と実践
— 2年生活科での実践を通して —
安藤忠展(関市立安桜小学校)
- 2PA3 プログラミングを教える意識に与えるサンドボックス型ゲームの効果の検討
CarlotCharline(J国際学院), KumpsAudrey(Umons(Belgium)),
DeLièvreBruno(Umons(Belgium)), 阪東哲也(鳴門教育大学)
- 2PA4 小学校プログラミング学習におけるフローチャート活用の効果
高橋脩(大阪信愛学院小学校), 市川隆司(大阪信愛学院大学)
- 2PA5 小学校高学年における情報を活用した問題解決とICT活用の関係の検討
福多朝子(宇都宮市立御幸が原小学校), 阪東哲也(鳴門教育大学)
- 2PA6 ソーシャルメディアにおける不適切投稿に関する調査研究
阿久津毅(昭和学院短期大学)

教材開発②

27日(日)14:15~17:15

【B会場】4号館3階4-301教室

座長：岸康人(高知学園短期大学), 吉井直子(奈良女子大学)

- 2PB1 第二言語で作成された動画の理解を助けるチェックリスト生成と活用についての研究
岸康人(高知学園短期大学), 立野貴之(玉川大学), 來栖正博(高知学園短期大学),
KIPROPEliud(電気通信大学)
- 2PB2 中学校社会科を中心とした地域学習の構想
— 地域調査を軸にして地域(校区)の特色を探る —
奥村信夫(滋賀大学教育学部附属中学校), 森康夫(滋賀県守山市立守山南中学校)
- 2PB3 中学校技術科における問題解決能力を育成するためのプログラミング教材の開発
— 技術的課題の段階的な設定に向けて —
横山駿也(飯能市立飯能第一中学校), 本村猛能(日本工業大学), 工藤雄司(茨城大学)
- 2PB4 AIで生成した多言語のテキストと動画のメタバースでの活用
横山隆光(岐阜女子大学), 櫛彩見(岐阜女子大学), 又吉齋(沖縄女子短期大学),
中島法晃(岐阜女子大学), 谷里佐(岐阜女子大学), 瀬戸敦子(岐阜女子大学)
- 2PB5 保育者の危険察知意識を高める学習システムの開発—熟練者と学生の視点—
大沢裕(松蔭大学), 立野貴之(玉川大学), 野末晃秀(松蔭大学)
- 2PB6 大学教育におけるPBLの重要性と課題
— 「失敗学」の講義に取り入れたPBLを通して —
吉井直子(奈良女子大学)

教科教育・学習評価

27日(日)14:15~17:15

【C会場】4号館3階4-304教室

座長：加藤亮介(日本大学), 林泰子(芦屋大学)

- 2PC1 芸術的創造性におけるオンライングループワークの適性
ー学修者の特定の性格特性の視点からー
加藤亮介(日本大学), 吉野大輔(日本大学), 新行内康慈(十文字学園女子大学)
- 2PC2 日本における戦後期の文集についてー地域・学校文集を中心にしてー
有働玲子(聖徳大学)
- 2PC3 高等学校情報科の検定済教科書「情報Ⅱ」における記載内容の特徴
小河智佳子(広島修道大学)
- 2PC4 小学6年理科の豊かな学びの評価尺度を用いた分析
及川浩和(岐阜協立大学), 埴岡靖司(岐阜県山県市立高富小学校),
臼井悠一(岐阜大学), 山崎宣次(鈴鹿大学)
- 2PC5 大学での電子アンケートにおける匿名性を確保した管理システムの考察
橋本辰浩(松蔭大学), 金幸郁(松蔭大学)
- 2PC6 非認知的能力とクリティカルシンキング志向性との関係
若山昇(帝京大学), 草山太一(帝京大学), 竹内俊彦(駿河台大学),
立野貴之(玉川大学), 山本美紀(松蔭大学)
- 2PC7 技術科教員養成課程の学生が有する「情報の技術」分野の指導観に関する研究
林泰子(芦屋大学), 野口聡(芦屋大学), 藤本光司(芦屋大学)
- 2PC8 タブレット PC を活用した小学校6年理科の豊かな学びの実践と評価
埴岡靖司(岐阜県山県市立高富小学校), 臼井悠一(岐阜大学),
及川浩和(岐阜協立大学), 山崎宣次(鈴鹿大学)

教育方法・デジタルアーカイブ

27日(日)14:15~17:15

【D会場】4号館3階4-305教室

座長：齋藤陽子(岐阜女子大学), 立野貴之(玉川大学)

- 2PD1 幼稚園教諭の資質向上を目指すキャリアステージにおける講座の在り方の研究Ⅱ
ー幼児教育コーディネータの資質能力の検討ー
齋藤陽子(岐阜女子大学), 久世均(岐阜女子大学), 眞喜志悦子(岐阜女子大学)
- 2PD3 地域資源デジタルアーカイブ活用した探究学習の試行
久世均(岐阜女子大学), 阿郷哲也(岐阜県立郡上北高等学校),
伊藤幸照(岐阜県立郡上北高等学校)
- 2PD5 日本語指導を必要とする児童が在籍学級において
自ら学習活動に参加できる手立てに関する事例研究
ーA町B群C町での調査から当該児童だけでなく学級全体の底上げを目指してー
篠崎真衣(岐阜女子大学大学院)
- 2PD6 機械学習を用いた受験指導ツールの試作と検討
ー最適な決定木モデルの探索ー
松岡亮輔(大阪教育大学), 若杉祥太(大阪教育大学), 濱野裕希(株式会社トワール)
- 2PD7 学生の「役割」意識の充足に着目した授業実践
ー産学連携チャレンジプログラムを利用した事例ー
清水健太(松蔭大学), 立野貴之(玉川大学), 田中聖華(横浜商科大学)
- 2PD8 新たな資質・能力としてのモニタリング能力の存在
ー質問紙の作成から一次データの収集ー
中嶋秀(芦屋大学大学院), 安東茂樹(芦屋大学大学院)
- 2PD9 アイトラッキングを活用したビジネスゲーム学習における視線行動の分析
立野貴之(玉川大学), 若山昇(帝京大学), 加藤由樹(相模女子大学),
加藤尚吾(東京女子大学), Anthony Madden(神田外語学院), 岡田工(東海大学)

教育実践①

27日(日)14:15~17:15

【E会場】4号館2階4-201教室

座長：山本朋弘(中村学園大学),河野文子(筑波大学)

- 2PE1 大学生の遠隔支援とVODによる小学校プログラミング教育の
ブレンド型支援の試行
山本朋弘(中村学園大学),榎本聡(日本女子大学)
- 2PE2 持続可能なプログラミング教育を目指して
ープログラミング教育における授業デザイナーー
相坂岳宏(大田区立梅田小学校),金高俊哉(大田区立梅田小学校),
石出勉(東京女子体育大学)
- 2PE3 視線入力装置を活用した教育実践等の研究動向
ー特別支援学校等における実践報告・研究発表についてー
大井雅博(帝京大学),織田晃嘉(国立特別支援教育総合研究所)
- 2PE4 コンピュータスキルの上達度について
仲村篤(沖縄女子短期大学)
- 2PE5 特別支援学級における個別最適化を目指した体験的な学習(2)
ー卵からカエルまでの育成ー
土肥由起子(宝塚市立宝塚中学校)
- 2PE6 管理栄養士養成課程における社会福祉科目の効果的な指導法の検討
伊達諒(高知学園短期大学),三宮章香(高知学園大学)
- 2PE7 VRを活用した保護室模擬体験用教材開発についての考察
小野坂益成(松蔭大学),川下貴士(松蔭大学),立野貴之(玉川大学),
丸山昭子(松蔭大学),福井英理子(東邦大学)
- 2PE8 ICTを活用した外国語活動の指導
ー肢体不自由特別支援学校の事例に着目してー
河野文子(筑波大学附属桐が丘特別支援学校)

教育実践②

27日(日)14:15~17:15

【F会場】4号館2階4-202教室

座長：坂本徳弥(元椋山女学園大学),呉亜矢(大阪学院大学)

- 2PF1 学生1人1台のタブレット端末を活用した授業について
坂本徳弥(椋山女学園大学名誉教授)
- 2PF2 小学校における1人1台端末の持続的な活用体制の構築
ー学校における日常的なデジタル活用を目指してー
金高俊哉(大田区立梅田小学校),相坂岳宏(大田区立梅田小学校),
石出勉(東京女子体育大学)
- 2PF4 VR技術を用いて精神科患者の身体拘束を疑似体験する教材開発に関する考察
川下貴士(松蔭大学),小野坂益成(松蔭大学),丸山昭子(松蔭大学),
福井英理子(東邦大学),立野貴之(玉川大学)
- 2PF5 学外学修における学生の意識向上を支援する授業設計の一考察
船戸はるな(玉川大学),永井悦子(玉川大学),立野貴之(玉川大学)
- 2PF6 高校生の主体性とGritが探究的な学習に与える影響の検討
宮崎幸弘(松山聖陵高等学校),阪東哲也(鳴門教育大学)
- 2PF7 PBL授業における学習成果の測定についての一考察
ールーブリック評価による学習成果に測定についてー
白川雄三(大阪学院大学),金崎暁子(大阪学院大学)
- 2PF8 高校時代の学習習慣と大学での学修に関する一考察
ー新入生アンケートの経年分析からー
呉亜矢(大阪学院大学),白川雄三(大阪学院大学),金崎暁子(大阪学院大学)

教育情報①

27日(日)14:15~17:15

【G会場】4号館2階4-218教室

座長：伊藤大河(共栄大学), 市川隆司(大阪信愛学院大学)

- 2PG1 情報流出経路を意識した SNS 等の利用に関する教材内容の検討
ーSNS 等による情報流出の認識に関する意識調査を踏まえてー
伊藤大河(東京学芸大学大学院/共栄大学), 山本利一(埼玉大学)
- 2PG2 日本におけるバレエ教育に関する研究 (2)
ースキップ運動の可能性についてー
井村薫子(芦屋大学)
- 2PG3 10代の若者を対象にした LINE の返信の待ち時間とネガティブ感情の喚起の関係
加藤由樹(相模女子大学), 加藤尚吾(東京女子大学), 立野貴之(玉川大学)
- 2PG4 RFID を活用した災害発生時における状況把握システムの試作
河合麗奈(慶應義塾大学大学院), 板橋咲季(デジタルハリウッド大学大学院),
伊藤大河(共栄大学)
- 2PG5 大学の電子学生証によるオフライン個人認証の実現方式と考察
金宰郁(松蔭大学), 秋廣誠(松蔭大学), 鈴木秀顕(松蔭大学), 立野貴之(玉川大学),
岸康人(高知学園短期大学)
- 2PG6 都内公立学校の外部人材活用と人材バンクの役割
桜庭望(八洲学院大学)
- 2PG7 中学校段階におけるデータサイエンス要素に関する検討
ー日英米の比較からー
市川隆司(大阪信愛学院大学)

教育情報②

27日(日)14:15~17:15

【H会場】4号館2階4-219教室

座長：石川敬史(十文字学園女子大学), 野末 俊比古(青山学院大学)

- 2PH1 持続可能な環境への建物構造最適化のための自動生成による
3次元建物内太陽光シミュレーション
村瀬孝宏(中京学院大学), 杉原健一(金沢大学)
- 2PH2 商人の倫理教育ー石門心学を中心としてー
池田聡(芦屋大学)
- 2PH3 文章生成 AI の利用意志とコミュニケーション・スキルの関係
藤巻貴之(目白大学), 立野貴之(玉川大学), 加藤尚吾(東京女子大学),
加藤由樹(相模女子大学)
- 2PH4 AI の活用による学習者に最適化した対話型文献探索システムの開発
ー「近未来の図書館と新しい学び」研究プロジェクトにおけるテクノロジーを活用した学習資源・支援モデルの構築ー
野末俊比古(青山学院大学), 越前谷直之(富士通), 鈴木祐介(富士通 Japan),
正司和寛(富士通 Japan), 竹内祐喜(富士通 Japan), 本多政爾(富士通 Japan),
小島梨紗(富士通 Japan), 前彩佳(富士通 Japan)
- 2PH5 障害者差別解消法改正に伴う私立大学, 民間企業等の対応の変化に関する研究
ー差別解消法改正による私立大学等の修学支援や就労支援の変化についてー
小川勤(静岡福祉大学)
- 2PH6 戦後日本の移動図書館の展開 ー『日本の図書館:統計と名簿』に基づく数量的分析ー
石川敬史(十文字学園女子大学)
- 2PH7 菱田春草作「菊慈童」の印象分析についての考察
熊崎康文(岐阜女子大学), 市川沙菜(岐阜女子大学)

- 2PI1 栄養士養成課程におけるオンラインの授業実施とその評価
ー栄養指導論基礎実習での取り組みー
吉田弘子(中村学園大学短期大学部), 大内田汐理(元中村学園大学短期大学部)
- 2PI2 データを活用して初年次教育の学習成果を評価する
ー米国の知見の応用と担当授業での実践ー
橋本智也(大阪公立大学), 白石哲也(山形大学)
- 2PI3 ものづくりのDXを化学習する指導内容の検討と授業実践
山本利一(埼玉大学), 兼平浩希(坂戸市立住吉中学校),
久保田久和(職業能力開発センター板橋校)
- 2PI4 現代詩を題材とした表現力を養うワークショップの検討ー白板ソフトを活用してー
船岡佳生(日本リベラルアーツ協会),
坂本保代(株式会社マイクロブレイン/Poetry Factory)
- 2PI6 沖縄戦体験の口述記録を用いたデジタルアーカイブの開発
ー戦争体験の証言記録と継承の試みー
加治工尚子(岐阜女子大学)
- 2PI7 教育における生成AIの検証・考察
ー作問学習手法を活用したTransAIー
鈴木秀顕(松蔭大学)
- 2PI8 高等学校における探究プログラムの類型化とその特徴
登本洋子(東京学芸大学)
- 2PI9 教員養成におけるイノベティブ教育の実践
ー高等学校の総合的な探究の時間での取り組みー
山崎宣次(鈴鹿大学), 井藤元(東京理科大学), 羽野ゆつ子(大阪成蹊大学)

◆開催方法について

- ・関西国際大学(兵庫県神戸市)を会場とする「対面方式」の開催といたします。
 - ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたのを受け、一律の感染対策を求めませんが、手指消毒や密を避ける等の感染症対策にご協力下さい。
 - ・発熱があった場合や咳などの症状がある場合は年会への参加をお控えいただき、年会 HP の問い合わせ(http://jsei-nenkai.jp/?page_id=24)よりご連絡ください。右記の QR コードもご利用ください。
 - ・上記の場合、年会参加費については発表のない方のみ返金対応いたします。懇親会費については返金できませんのでご注意ください。
- 詳細につきましては年会実行委員会へお問合せください。



◆年会開催までのスケジュール

原稿提出期間	2023年6月1日(木)～7月4日(火)
参加申込期間	2023年6月1日(木)～8月5日(土)
論文郵送申込期間	2023年6月1日(木)～8月5日(土)

◆原稿提出方法

- ・原稿は年会 HP 内の執筆要綱に従って作成していただき、PDF 形式に変換後、「原稿提出」フォームからご提出ください。**締め切りは、7月4日(火)厳守です。**
- ・提出するファイル名は本ニューズレターに記載されている4桁の発表者コード(半角英数字(発表タイトルの前に記載))としてください。
- ・発表申込した(本ニューズレター掲載の)タイトル、発表者、所属等から変更がある場合は、備考欄に必ずその旨を記載してください。

◆発表会場で使用できる機器等

- ・発表会場で使用できる機器は、スクリーンとプロジェクターです。
- ・パソコンは各自で持参してください。
- ・なお、プロジェクターと接続できる端子は HDMI 端子となります。
- ・Wi-Fi のゲスト使用も提供予定です。詳細は年会当日にお知らせします。

◆年会参加方法

参加申込の際には、下記参加費等の振込完了後、年会 HP 内の「各種申込み」メニューから「参加申込」フォームを選択して参加手続きを行ってください。

【振込先】

銀行名：三菱 UFJ 銀行
店番：483 芦屋支店
口座番号：普通 0171778
口座名義：日本教育情報学会 年会企画委員会

- ・振込名義は本人(参加申込者)としてください。
- ・大学ごとの団体振込、代理振込をされないようご注意ください。

注) 同時期、本部事務局へ年会費を納入されるかと思いますが、年会参加費の振込先とは異なりますので、お間違いないようにご注意ください、お振込みをお願いします。

◆各種費用について

- ・会員事前申込締切日まで
参加費 3000 円 論文集費 4000 円 懇親会費 5000 円
- ・会員(当日)、非会員
参加費 4000 円 論文集費 4000 円
- ・後援関係の教職員、協賛企業の方、学生(会員)
参加費 無料 論文集費 4000 円

※課題研究と一般研究の両方にお申し込みの方も参加費は 3000 円(または 4000 円)です。

※後援教職員・協賛企業の方、学生(会員)の参加費は無料です。ただし、後援教職員・協賛企業の方、学生(会員)であっても発表者は参加費が必要です。

★論文集の郵送申込について(年会に参加されない方)

- ・年会に参加されない方で、論文集を購入希望の場合は、上記振込先へ論文集代をお振り込みのうえ、年会HP内の「各種申込み」にあります「論文集郵送申込フォーム」よりお申込みください。
- ・年会終了後に論文集を送付します。
- ・論文集：4500 円(本体、郵送費等を含む)。

◆懇親会について

- ・懇親会場： ラッセホール
(神戸市中央区中山手通 4-10-8、TEL:078-291-1117、年会会場から徒歩9分)
- ・予約の都合上、参加ご希望の方は、必ず事前申し込みを行ってください。
申込後のキャンセル、当日の参加申し込みはできませんのでご注意ください。



◆昼食について

- ・8月26日(土)、27日(日)は、夏休み期間中のため、年会会場の学生食堂は営業していません。
- ・大学正門前にコンビニが1店舗ありますが、昼食時間帯に混雑する可能性があります。
- ・近隣には食事処が少ないため、昼食は各自ご用意願います。
- ・会場校にて昼食をとられる場合には、休憩室をご利用ください。

◆宿泊について

- ・宿泊については、各自で手配していただきますようお願いいたします。

◆会場アクセス(徒歩8分)

関西国際大学神戸山手キャンパス

https://www.kuins.ac.jp/about/campus_guide/kobeyamate.html

！ご注意！

- 4号館へは外部から入館できません。
- 1号館正門からお入り下さい。
- 1号館から学内に入り、4号館にアクセスできます。



正面入口



各最寄り駅からキャンパスまでの所要時間

神戸市営地下鉄 県庁前駅……（徒歩約 5分）→

JR /阪神電鉄 元町駅……………（徒歩約 13分）→

阪急電鉄 花隈駅……………（徒歩約 11分）→

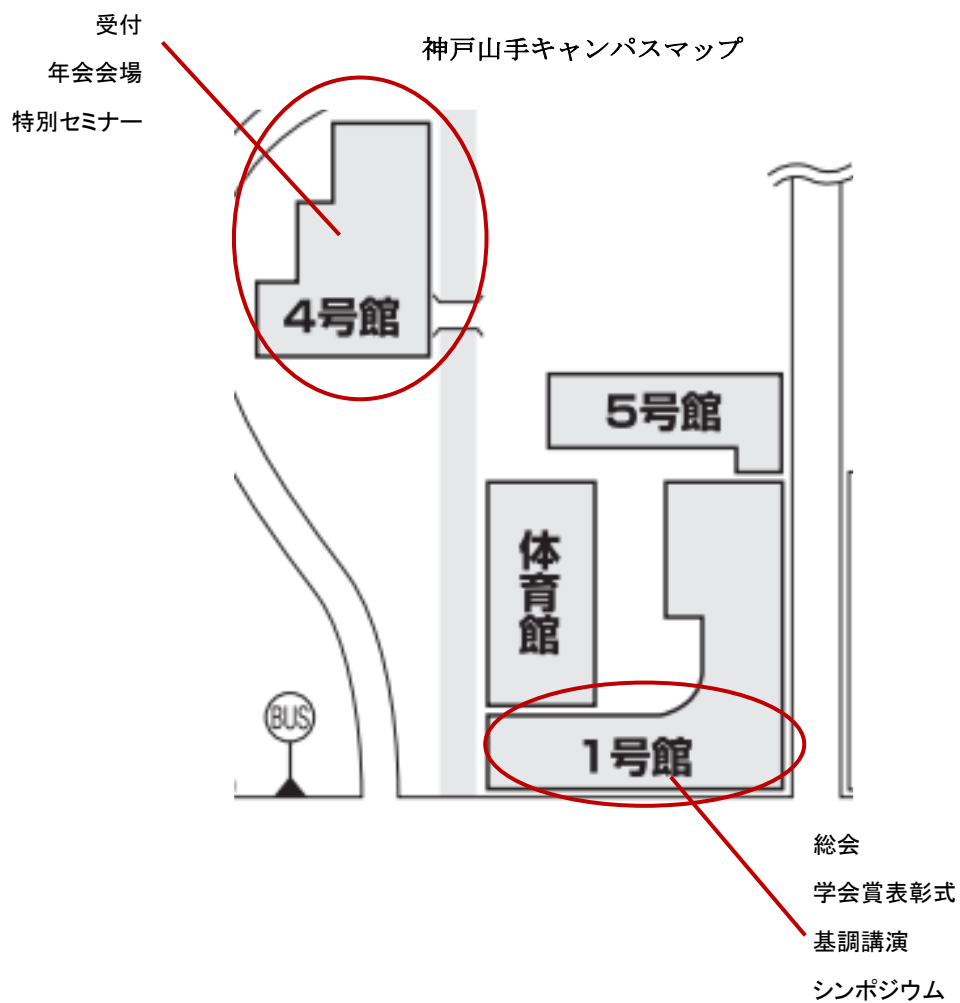
※各交通機関の運行状況、時刻表はHP等でお調べ下さい。



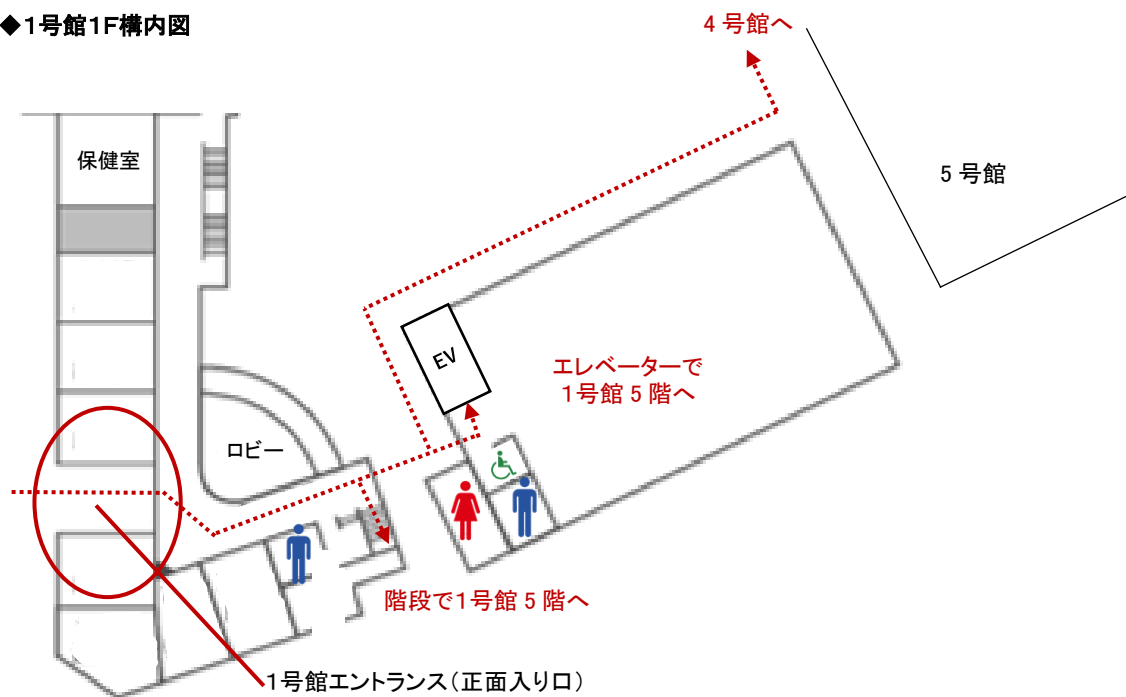
1号館



4号館



◆1号館1F構内図



◆1号館5F構内図



8月26日(土)	
<総会・学会賞表彰式>……	13:15～13:45
<基調講演>……………	14:15～15:15
<シンポジウム>……………	15:30～17:30

※1号館5階に女性用トイレはございません。
4階の女性用トイレをお使い下さい。

◆4号館1F構内図

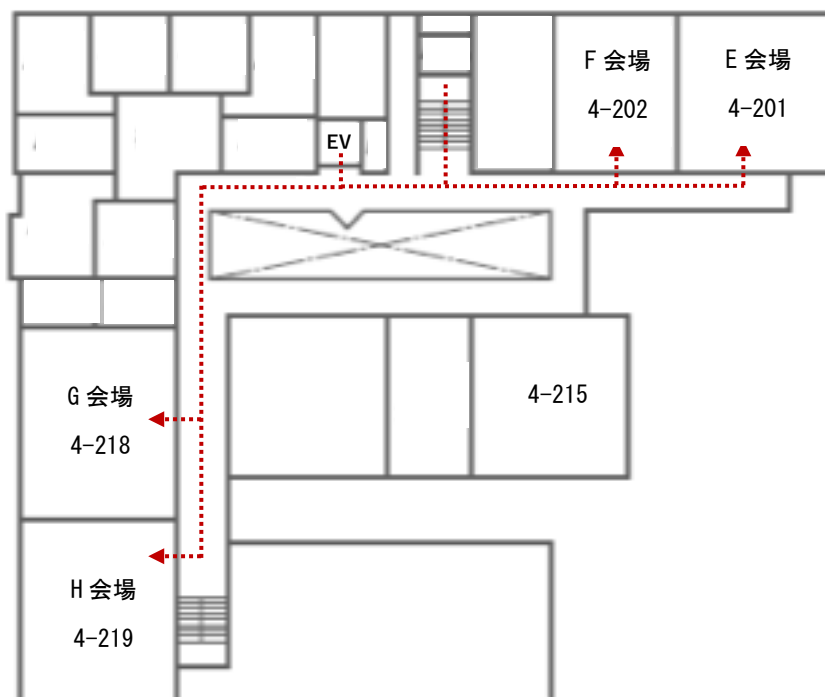


※4号館は外部から入館することはできません。1号館から入構し、4号館まで移動して下さい。

※1号館のエントランスを抜け5号館に沿って通路を進み、小川にかかった橋を越えて下さい。

4号館ピロティは橋を越えた正面にあります。(1号館1F構内図参照)

◆4号館2F構内図



8月26日(土)10:00~12:00

< 課題研究 >

- プログラミング教育研究会 …… 【E会場】
- 国際交流研究会 ……………… 【F会場】
- 教職開発研究会 ……………… 【G会場】
- 特別支援教育 AT 研究会 …… 【H会場】

8月27日(日)9:30~12:00

< 課題研究 >

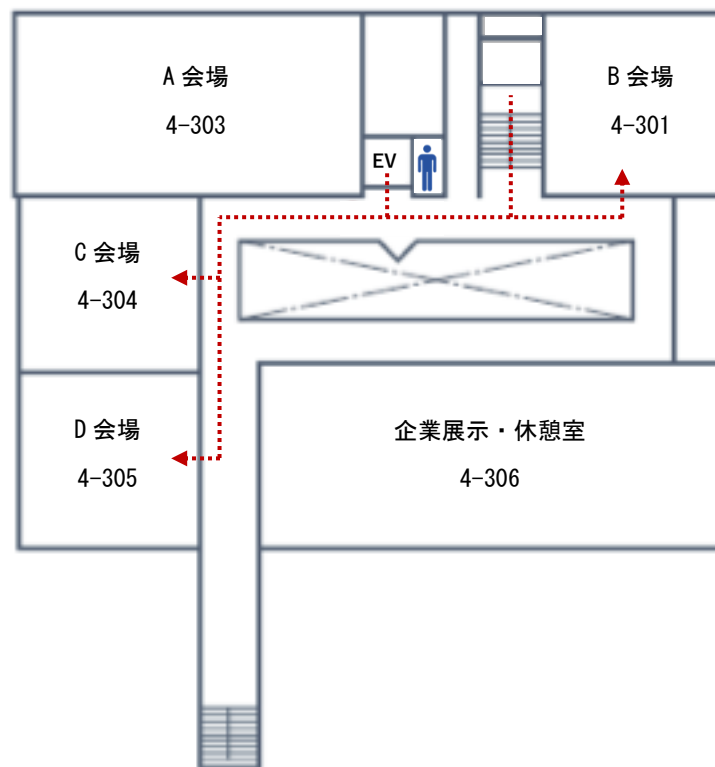
- 国際交流研究会 ……………… 【F会場】
 - 教職開発研究会 ……………… 【G会場】
- < 一般研究 >
- 情報教育① ……………… 【E会場】
 - 教材開発① ……………… 【H会場】

8月27日(日)14:15~17:15

< 課題研究 >

- 教育実践① ……………… 【E会場】
- 教育実践② ……………… 【F会場】
- 教育情報① ……………… 【G会場】
- 教育情報② ……………… 【H会場】

◆ 4号館 3 F 構内図



8月26日(土) 10:00~12:00

<課題研究>

ICT活用研究会.....【A会場】

IR研究会.....【B会場】

デジタルアーカイブ研究会...【C会場】

教育資料研究会.....【D会場】

8月27日(日) 9:30~12:00

<課題研究>

ICT活用研究会.....【A会場】

IR研究会.....【B会場】

デジタルアーカイブ研究会...【C会場】

教育資料研究会.....【D会場】

8月27日(日) 13:00~14:00

<特別セミナー>.....【A会場】

8月27日(日) 14:15~17:15

<一般研究>

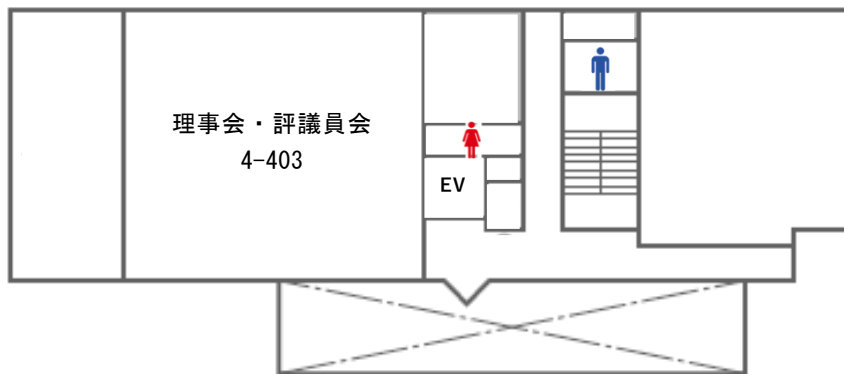
情報教育②.....【A会場】

教材開発②.....【B会場】

教科教育・学習評価.....【C会場】

教育方法・デジタルアーカイブ...【D会場】

◆ 4号館 4 F 構内図



日本教育情報学会 運営本部事務局

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘 4 丁目 698-1
大阪教育大学 理数情報教育系 理数情報部門 若杉研究室
TEL: 090-1026-1413 FAX: 050-3488-5061
E-mail: jsei@jsei.jp HP: <http://jsei.jp/home/>